

函館地区の研究活動

研修部長 函館市立港小学校

校長 平馬 隆 司

1 はじめに

函館市の義務教育の基本理念は「心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもの育成」である。各学校は、子ども一人一人の確かな育ちに資する公教育としての使命を確実に果たすとともに、函館の新しい時代を拓き、豊かに生きる教育の創造に取り組んでいる。

こうした理念を受け、本会は、各校長が新しい時代の要請を見据え、優れた識見や人格を備えて指導性を発揮し市民の付託と信頼に応えることを目指し、「当面する教育の諸課題の解決に向けての研究を深め、校長としての資質と指導力の向上を図るとともに、会員相互の研究交流に努めること」を基本方針に掲げ、全国連合小学校長会・北海道小学校長会との連携を基軸とした研究活動を推進している。



2 研究計画

(1) 研究主題

「心豊かに優しさをもって生きる児童を育成する教育課程の編成と校長としての指導性の在り方」

(2) 研究主題の趣旨

函館市教育委員会は、平成20年度に「函館市義務教育基本計画」を策定し、その実現を図るため、年度毎に重点を定めた学校経営の指針「アプローチ」を示し具体的な方策を明確にしている。

函館市小学校長会では、これまでこの指針を基に、各学校が家庭・地域と連携しながら特色ある体験的な活動や地域性を生かした道德教育の推進等に努めてきた。

本研究においても、他者を思いやり、ともに生きようとする人間尊重の精神や自他の生命を大切にする「優しさをもって生きる子ども」(平成26年度「アプローチ」)の実現を目指して、各学校が創意ある教育活動を展開できるよう研究主題を設定した。

(3) 研究の進め方

①実践目標

- 教育の今日的課題とその解決に向けた諸施策等の動向を見定め、校長としての資質の向上を図るための研修活動を推進する。
- 校長の職責の視点から、これからの学校経営の充実に係る調査・研究を推進し、成果と課題を明らかにする。
- 関係機関や関係団体との緊密な連携の下で、全国・全道及び全市的視野に立ち、研究内容の一層の充実を図る。

②推進事業

- 学校経営にかかわる研修会・講演会の企画・開催
- 各学校の経営ビジョンに関する基礎調査と研究のまとめ
- 第66回全国連合小学校長会研究協議会埼玉大会における研究発表
- 当面する教育課題に関する取組の企画・実践(確かな学力の向上を目指す組織的な教育実践)
- 研究集録「学校教育の創出」の充実を図る研究交流
- 道小研修部との連携、及び、道小「教育北海道」への執筆協力

3 研究活動

(1) 教育経営研修会の企画・開催

教育関係者等による講演会の実施。校長の識見を高めるため、小・中学校長会合同での開催。

①第1回教育講演会 主管：函館市中学校長会

○期 日 平成26年8月6日（水）

○講 師 北海道教育庁渡島教育局長 成田 祥介 氏

○演 題 「教育の今日的課題」

②第2回教育講演会 主管：函館市小学校長会

○期 日 平成27年1月16日（金）

○講 師 前長万部町教育委員会教育長 道幸 拓志 氏

○演 題 「今、学校教育に期待すること」

(2) 第66回全国連合小学校長会研究協議会埼玉大会における研究発表

○期 日 平成26年10月23日～10月24日

○会 場 埼玉県さいたま市大宮ソニックシティ大ホール他

○研究発表 危機管理 第9分科会「学校安全」

○研究課題 「命を守る安全・防災教育の推進」

○研究発表題 「危険に気付き、自ら適切に行動する児童を育てる安全・防災教育の推進と校長の在り方」

○発表者 函館市立高盛小学校長 秋山 隆行

○発表内容 研修部が各学校のこれまでの実践を収集・分析を基に、本市における安全・防災教育の推進に係る課題を焦点化し、併せて、課題解決を目指した事例収集を行い、函館地区の研究としてまとめた。

(3) 「学校教育の創出」の編集と発刊

- 編集の重点を各小学校の「経営の概要」及び「本年度の重点実践事項」の交流とし、校長として取り組んだ学校づくりの成果と課題を明らかにしている。また、時宜にあった教育課題解決のために組織された特別委員会の報告（今年度のテーマは、「平成30年度全連小研究大会函館大会の開催に向けた研究」）や、各種研究大会の発表・参加報告等を掲載している。さらに、市内全小学校の研究主題一覧を掲載し、校内研修の交流に役立てている。

(4) 当面する教育課題に関する取組の企画・実践

- 今年度は、当面する教育課題を「函館市における学力向上の具体的方策とその検証」として位置付け、校長会として“確かな学びの実現”を目指して取り組む「5つの重点」を策定し、各学校での実践の成果や課題を交流するとともに、中学校長会と連携を図り、全市を中学校区を軸としたブロックに分け、義務教育9年間を見据えた教育活動の質的向上を目指した協議を推進している。12月には、小・中学校合同で取組の成果と課題に係る実践交流会を実施する予定である。

4 各種研修会への支援と指導

(1) 「小・中学校教頭会合同特別研修会」への支援・指導

(2) 「生き生きセミナー」（中堅教員の育成事業）への支援・指導

(3) 「小・中学校教頭会合同研究大会」での指導・助言

5 おわりに

今年度は、全連小研究大会埼玉大会において函館地区としての研究発表を行い、全国各地の会員から多くの評価や助言をいただき、大きな成果を上げることができたものと捉えている。

今後は、小学校長会としての「組織的な学力向上の方策」の模索・提案に取り組むとともに、平成28年度道小小樽大会において、「評価・改善分科会」において提言発表が予定されている。今年度までの取組の課題を分析・検証し、組織的な研究の一層の充実に努めていきたいと考えている。